

ピンチの研修医

編集●岡田 定

執筆●松尾 貴公 岡本 武士
北田 彩子 矢崎 秀

～聖路加チーフレジデントがピンチの研修医を救出します～

第20回

Oncologic emergency

矢崎 秀

今回の肝

1. Oncologic emergencyを見逃すな！
2. 発熱性好中球減少症の身体所見は AIUEOS！
3. がん患者の腰痛は脊髄圧迫症候群を常に疑う！

エピソード1

ピンチの研修医

一夜間の当直中。午前0時を回るころ、研修医のPHSが鳴る。病棟からのCall。

看護師：68歳の男性。急性骨髄性白血病に対し寛解導入療法 Day 8 の患者さんです。37.8℃の発熱です。その他のバイタルサインは安定しています。

研修医：ふーん。37.8℃？ 今、点滴漏れと低血糖で他の病棟で呼ばれているので、解熱薬をお願いします。

：……。

—1時間後……。

：やっと点滴が入った。一応さっき呼ばれた発熱の患者さんを診にいこう。〇〇さん、こんばんは。

患者さん：(ガタガタ……)

研修医：あれ？ けいれんしているのか……？ いや悪寒戦慄か！ 看護師さん、バイタルサインは？

看護師：意識レベルは JCS I -1、体温 38.9℃、血圧 80/60 mmHg、脈拍数 120 回/分・整、呼吸数 24 回/分、SpO₂ 94%です。

研修医：これはやばそうだ……。どうしよう……。チーレジ先生！ 白血病で化学療法施行中の患者さんですが、ショックバイタルです！！

急性骨髄性白血病に対し寛解導入療法施行中の患者さんの発熱

37.8℃? 今手が離せないので解熱薬をお願いします

ブツ...

どうしよう! ショックバイタルだ!

ヤバイ...

1時間後...

PINCH!

チーレジの救出

チーレジ：寛解導入療法 day 8 での発熱、ショックバイタルか。好中球数は 100/mm³ 以下。頸静脈怒張はなく、末梢は温かい。モニターを装着して生理食塩水をフラッシュで投与。敗血症性ショックの可能性が高いので、血液培養の準備をお願いします。

研修医：チーレジ先生、来ていただいてありがとうございます。

チーレジ：血液検査、血液培養、尿検査を提出しつつ、胸部単純写真をオーダーして。そして身体所見をとろう。

研修医：はい。身体所見ではこれといった所見はなさそうです。どうしましょう？

チーレジ：本当かな？ 肛門部も診察した？ この患者さんは、痔核の既往があって肛門部痛があるみたいだ。

研修医：(なぜそこまで把握しているのだろう……) 診てみます。肛門周囲に発赤、疼痛を認めます！

チーレジ：尿検査や胸部単純写真を確認しつつだけど、肛門周囲蜂窩織炎の可能性が高いね。腎機能も問題ない患者さんなので、ピペラシリン・タゾバクタム 4.5 g を 6 時間ごとで投与を開始しよう。

研修医：一補液と抗菌薬投与で、患者のバイタルサインは翌朝にかけて安定した。

チーレジ先生、昨日はありがとうございました。

研修医：お疲れさま。ショックバイタルですぐに報告してくれたのはよかった。でも、少し対応が遅れていたようだね。

チーレジ：その前にも病棟で呼ばれていて、対応が遅くなってしまいました。

研修医：当直対応では緊急性を把握し、優先度の高いものから対応するのが原則だよ。発熱の当直コールで緊急性があるのは、どんなときだと思う？

チーレジ：うーん、敗血症ですか？

チーレジ：もちろん敗血症を疑う場合はそうだし、他には細菌性髄膜炎や CAPD* 腹膜炎、重症肺炎、発熱性好中球減少症のときなども緊急だね。これらの際は早急に対応し、迅速に経験的抗菌薬投与を行う必要がある。

研修医：勉強になります。

チーレジ：今回は急性骨髄性白血病に対し寛解導入療法施行中の患者さんの発熱性好中球減少症で、急速にショックバイタルに至った症例だったね。

研修医：では、発熱性好中球減少症の定義は？

チーレジ：……わかりません。

発熱性好中球減少症 (febrile neutropenia ; FN)

好中球数が 500/μL 未満、または 1000/μL 未満で 48 時間以内に 500/μL 未満に減少すると予測される状態で、腋窩温 37.5℃ 以上の発熱があり、非感染性の原因が除外できる場合

チーレジ：これが定義だから覚えておいてね。

研修医：はい。

チーレジ：37℃ 台の発熱であっても好中球減少者の発熱は重症化する可能性が高く、内科的緊急症だよ。

研修医：昨日の症例で身に染みしました。でも肛門部の診察なんて、今までしてこなかったです。

チーレジ：発熱性好中球減少症患者で特異的な感染臓器が明らかになるのは、20～30%程度といわれている。身体所見上も感染臓器がわからないことも多い¹⁾。その分、注意深く診察する必要がある。

研修医：とくに注意して診察しないといけない部位はどこか、知っている？

* CAPD：持続的携行式腹膜透析 (continuous ambulatory peritoneal dialysis)